

新 聞

可児の埋め戻しフェロシルト

「今後搬入しない」

業者が説明

可児市大森の住宅地に、放射性物質を含む埋め戻し土「フェロシルト」が愛知県春日井市内の業者によって埋められている問題で、周辺住民と業者の話合いが四日、現地で行われた。業者側は集まった約六十人の住民に対し「工事は続けるが、住民が心配しているよつなので、フェロシルトはこれ以上搬入しない」などと説明した。

問題は、などと説明するのに対し、住民側は「安全の理由が示されていない」、「ケナフを栽培するだけのために、深く掘り下げている理由は何か」などと反発している。

話合いに立ち会った可児市環境課は「周辺の井戸の水質調査など、住民と話しながら対策を考えたい」と話している。

(田中 篤至)

現場では、一月中旬から業者が「ケナフを栽培するため」として埋め戻し作業を続けている。話合いでは、業者側がフェロシルトの安全性に

可児市のフェロシルト問題

住民、撤去求める

業者と話し合い

可児市大森の造成地に埋め戻し材「フェロシルト」題で、埋め立て業者と地微量の放射性物質を含む「ト」が埋められていた問題で、元住民との話し合いが四

日、現地で開かれた。市によると、愛知県春日井市の業者が土地所有者の許可を得て今年一月からケナフ栽培を目的に埋め始めたという。

話し合いには住民ら約七十人が出席。業者側はフェロシルトの安全性や今後埋める予定がない点を説明。住民からは安全性への疑念が相次ぎ、業者に撤去を求めた。

フェロシルトは、三重県ではリサイクル推奨品に認定。一方、市民団体などが環境や人体に悪影響があるとして使用中を求めている。